

家庭教育だより



まごころ

No.32

平成28年11月号

編集・発行 深谷市教育委員会 生涯学習スポーツ振興課
家庭教育だより「まごころ」編集委員会
〒366-0823 深谷市本住町 17-3 TEL048-572-9581

「読書の秋」

秋になり、涼しさが心地よく感じられ、読書をするにはちょうど良い季節になりました。進んで読書をされてはいかがでしょう？近年、子どもの活字離れや国語能力の低下が指摘されており、改めて読書の大切さが認識されています。子どもにとって読書は、3つの効果があると言われています。1つ目は、語彙力の向上です。知らない言葉に出会うことによって語彙力を磨くことができます。2つ目は、集中力が養われます。読書を習慣づけると集中力が長時間持続すると言われています。3つ目は、感受性が豊かになります。読書をするにより、主人公の気持ちを共感し、自分が体験したかのように満足感を得ることができます。このように子どもの時から読書をするという習慣は、大切なことがわかります。



幡羅小学校の「読書タイム」と上柴西幼稚園の「保護者による絵本の読み聞かせ活動」をピックアップしましたので、その取組を紹介します。

はたらしょうがっこう
幡羅小学校

読書タイム

幡羅小学校は、木曜日の「読書タイム」で、全校で朝の一斉読書をしています。この「読書タイム」は、読書に親しむ有意義な時間です。児童は、図書室で借りた本や学級文庫の本など自分の好きな本を用意して、静かに集中して読書をしします。「読書タイム」には、保護者や学校応援団ボランティア「ぐるんぱ」の読み聞かせの時間もあります。児童は目を輝かせて真剣に聞き入っています。10年以上継続している「ぐるんぱ」の読み聞かせの時間を児童はとても楽しみにしています。



学期ごとには、「あじさい読書月間」「もみじ読書月間」「木枯らし読書月間」の読書月間を設けています。この読書月間では、①季節にちなんだカードに児童が選んだお薦めの本を記入し、掲示板に貼って紹介、②分類番号での読書ビンゴ、③学年の目標冊数を達成した児童へ図書館ボランティア作成のはたらっこ特製しおりプレゼント、④図書委員による『絵本村』での読み聞かせなどを行っています。児童の読書への意欲が高まり、読書の楽しさを味わうことができています。

また、学校で低学年40冊、中学年30冊、高学年30冊の本を選定して、「はたらっこお薦めの本」として児童に積極的に本を読むよう呼びかけをしています。

かみしばにしょうちえん
上柴西幼稚園

保護者による絵本の読み聞かせ活動

市立上柴西幼稚園では、全園児の保護者による絵本の読み聞かせを行っています。幼稚園の生活がより子どもたちにとって、充実したものになるよう、保護者の方々にも保育に参加していただいています。

保護者による絵本の読み聞かせについては、毎週1回、降園時間前に読んでいただいています。絵本選びについては、小さいころの思い出の絵本や好きな絵本等、幼稚園にある絵本も活用くださっています。

この活動を通して、子どもたちは読み手の保護者にありがたいの気持ちを持つことができます。保護者の方は、子どもたちのじっくり聞き入る姿に感心されます。子どもたちは、降園時の絵本の読み聞かせをととても楽しみにしています。

また、絵本の貸出も行っています。「・絵本の読み聞かせを通し、親子がふれあう時間を持つ。・落ち着いた絵本に集中し、想像したり空想したりすることを楽しむ。・絵本から受けた感動を親子でいっしょに楽しむ。」がねらいです。絵本を親子で共有し家庭での楽しい時間を持っていただけならと考え行っています。ぜひ、ご家庭でも読み聞かせをしてみましょう。きっと、子どもたちのこれからの大切な宝物として心に残っていくことでしょう。



1 学期に出会った絵本

ぐるんぱのようちえん、すいか、おばけのてんぷら

かとりせんこう、にじいろのさかな、100かいだてのいえ、他

幡羅小学校の保護者の方に、「小学生時代に夢中になって読んだ本」について、アンケートを行いましたので、いくつか紹介いたします。同世代の保護者の方々には、懐かしく感じるかと思います。

1

はだしのゲン……

この本を初めて読んだ時、体にウジ虫がついていたり、体が原爆の影響で溶けている人が出てきたりと、とてつもなく衝撃を受けた記憶があります。子どもながらも、怖いけど何回も読んだ本でした。

2

学習漫画シリーズ……

当時は、人気があり図書館に在庫がありませんでした。歴史と、その人物について良く分かった本でした。

3

こまったさん、わかったさんシリーズ……

本を読みながら料理も学べる事が楽しく、どんどん内容に引き込まれ、シリーズを全部制覇した唯一の本でした。

その他、ズッコケ三人組、怪人二十面相、ぼくらの七日間戦争、赤毛のアン、主様シリーズ。ほか

子育ての
おもいで

我が家には、20才を筆頭に4人の子供がいます。子供たちがまだ小さかった頃、買い物に行けば迷子になり、家の中では部屋の四隅に座布団を置き野球をするなどパワー全開、常に私は小走りで我が家はさながら毎日が運動会のようなものでした。「ケガをしないか」「病気をしないか」と心配ばかりの毎日に早く子供たちが成長してくれないかと思ったりしていました。

そんな子供達も上の2人は大学生となりそれぞれ大学の近くで一人暮らし、末っ子も中学生になりました。皆、成長し色々な事に頑張る姿を見せてくれてうれしい限りですが、やはり心配事は絶えません。一人暮らしの長女長男は「朝、ちゃんと起きているかな」「ご飯を食べているかしら」、高校受験を控えている次女は「志望校合格ができるだろうか」「頑張りすぎてパンクしないだろうか」、末っ子の次男は「新しい中学校生活はうまくいっているかな」等々-----。先日も主人と「私たち親はいつ心配事がなくなるのだろうね。きっとなくなるのかな」と話したところですが、でも、それでもよいのではないかと思います。なぜなら、心配しながらも応援していく事が楽しくもあり、私たち親の役目であると気がついたからです。これからも私の心配事はもう少し続きそうですが、子供たちの一番の応援団でいたいと思います。

深谷中学校 保護者

よくかむと良いこといっぱい！～11月8日は「いい歯」の日～

「歯と口の健康が全身の健康」と言われています。よくかむと、下のような8つの効果が得られます。頭文字をとり「ヒミコの歯がイーゼ！」となりますので、ぜひ覚えてください。一口30回以上を意識し、食材はかたいものを選びましょう。

①肥満の防止

食べ過ぎを防ぎ、少ない量で満腹感を感じることができます。

②味覚の発達を助ける

食べ物の本来の味がわかり、食事がおいしく感じられます。

③言葉の発音がよくなる

口のまわりの筋肉を使うので、あごの発達を助け、言葉の発音がハッキリし、顔の表情が豊かになります。

④脳の発達

脳に流れる血液の量が増え脳を刺激するので、脳の活動が活発になり集中力がアップします。

⑤歯の病氣予防

唾液がたくさん出て、食べかすや細菌を洗い流し、むし歯や歯肉炎の予防になります。

⑥ガン予防

唾液に含まれているペルオキシターゼという酵素が、食べ物の発ガン性を押さえてくれます。

⑦胃の働きを助ける

消化が高まり、胃腸の調子も活発となります。

⑧全身の体力向上

身体が活発になるので、勉強やスポーツをする時などの活力や集中力になります。

＊参考 「8020推進財団」HPより

おやつもケーキやチョコレート等よりも、おせんべいや、するめ等のかたいものを選びよう！



親子でクッキング ～小魚入り松葉芋～

秋に旬をむかえるさつまいもで作ったかみかみメニューです。ちりめんじゃこも入るので、不足しがちなカルシウムもとれます。

<材料 4人分>

さつまいも・・・250g(約中1本)
揚げ油・・・適量

ちりめんじゃこ・・・10g

砂糖・・・大さじ1
はちみつ・・・大さじ1
みりん・・・大さじ1
しょうゆ・・・大さじ1
白いりごま・・・小さじ1
水・・・大さじ1

たれ用

<作り方>

- ① さつまいもはせん切りにし水にさらしてあくをとる。
- ② あくをとったさつまいもを165～170℃の油でカリッと揚げる。
- ③ ちりめんじゃこはからいりをしておく。
- ④ 別鍋で甘辛のたれをつくる。
- ⑤ 揚げたさつまいもとじゃこをまぜ、たれに絡めてできあがり！



★カリッと揚げることで、噛む量も増えますが、子どもたちに人気のメニューです。おやつのかわりにいかがですか？



わが校自慢

深谷市立幡羅中学校

＜あいさつ運動とおもいやり賞で豊かな心の育成＞

本校は、あいさつ日本一を実現する学校として、学校内外であいさつができるようにしています。本校を訪れる方の多くが、「あいさつが素晴らしいですね。」と誉めてくださいます。あいさつの取組として、まず、「集会時のあいさつ運動」（写真左）は、朝会や式の前などに、あいさつリーダーを中心に全員で元気にあいさつをします。次に「Happy Wednesday」は、部活動の始まる前に、部員全員であいさつをして素早く部活動を始めます。そして、「ハロープロジェクト」は、生徒会を中心に正門等でのあいさつ運動を行っています。いずれも生徒が主体となって取り組んでいます。



また、人権教育そしていじめ防止の観点から、生徒が強く「他者を思いやる」心を持ち、実践できるようにしています。生徒が、学校や地域でよい行いをした場合、それを「思いやり賞」として表彰しています。（写真右）その結果、学校の内外で困っている人を助けたり、進んで掃除をしたりするなど、おもいやりを行動にできる生徒が増えています。例えば、道路で転倒している老人を、数人の男子が助け出したことがあります。

幡羅中は、あいさつ運動とおもいやり賞で豊かな心を育成します。



子育てQ&A



Q. 子どもに「お手伝い」をさせようと考えています。けれども、まだ幼いこともあり、よけいに時間も手間もかかってしまうので、忙しい平日はなかなかさせられなくて…（年長女児、小学校3年男児 母）

A. 『お手伝い』をして人の役に立つ経験や責任を果たした経験を積むことが子どもの自信や生きる力を形成することにつながります。ぜひ、機会を見つけてやらせてあげたいですね。3～4歳からいろんなことができます。花の水やり、配膳、ハンガーに自分の靴下を干すなど、幼稚園や保育園のお当番を参考にしてみてください。興味関心を大切に、「やってみる？」と声をかけてみて、のってくることをさせればよいでしょう。小学校中学年以降になるとお手伝いには家族の一員としての責任を果たすという意味もでてきます。「あなたはここがうまいから」と伝え、毎日担当できる仕事を探せるといいかもしれません。失敗しても基本的には叱らずに、子どもひとりずつに対して『ありがとう』『助かったよ』と伝え、誰かのためになることの嬉しさや誇らしさを感じる体験になるとよいでしょう。

深谷市立教育研究所 学校福祉相談員（臨床心理士） 金子まどか

教育研究所では、お子さんの健やかな育ちを応援するため、ご家族やご本人との相談を行っています。

深谷市立教育研究所
〒366-0823
深谷市本住町12-8
TEL 048-572-9456



まごころクイズ

「よくかむと良いこといっぱい！」で取り上げている「〇〇〇の歯がイーゼ！」の〇〇〇は、次のうち何でしょうか？

①：卑弥呼 ②：源頼朝 ③：勝海舟 ④：栄一翁

はがきに、答え・〒住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見やご感想を明記の上、平成28年12月1日（木）（消印有効）までに下記のあて先へ。正解者の中から抽選で10名様に粗品を差し上げます。

あて先 〒366-0823 深谷市本住町17-3
深谷市教育委員会生涯学習スポーツ振興課「まごころ」担当へ
TEL 572-9581 FAX 574-5861